

第1回協議会では、基礎調査やアンケート・ヒアリング結果、ブランディング戦略の方向性について説明し、委員の皆様からご意見をいただきました。

主な説明内容

(1) 文学資源調査・ヒアリング結果

大津市が有する文学資源の整理や、文学団体・関係者へのヒアリング結果を報告

(2) 市民アンケート結果

文学資源の認知度や、市民の関心・ニーズ、文学を活かしたまちづくりへの期待を整理

(3) 現状と課題の整理

大津市の強みや課題を整理し、今後取り組むべき方向性を共有

(4) ブランディング戦略の方向性

「文学のまち大津」が目指す方向性や、戦略策定に向けた基本的な考え方を説明

主な意見

（１）文学資源を知り、活かす

- ・ 点在する文学資源をつなぎ、「文学のまち大津」として分かりやすく発信することが必要
- ・ 文学資源を掘り起こすだけでなく、市民が日常的に触れ、体験できる機会を充実させることが重要

（２）文学に親しみ、人を育てる

- ・ 子どもや若者が文学に親しみ、創作や発表につながる機会を充実させることが重要
- ・ 文学を幅広く捉え、読むだけでなく、書く・伝えるなど主体的に参加できる仕組みが必要

（３）つながり、共創する

- ・ 文学を通じたコミュニティづくり、多様な主体による連携・共創を進めることが重要
- ・ 図書館など既存施設も活用しながら、市民主体で取り組む仕組みづくりが必要

（４）魅力を伝え、ブランドを育てる

- ・ 「文学」の魅力を分かりやすく、親しみやすく伝える工夫が必要
- ・ 国内外への情報発信や交流を進め、「文学のまち大津」のブランド力を高めることが重要